

はりの灸2

市川治療室 NO.357.2018.04

昨年は「はりの灸」をご紹介しました。今回は第二弾の「はりの灸2」をご紹介させていただきます。これらの冊子は、公益社団法人日本鍼灸師会の地域ケア推進委員会と広報普及IT委員会が企画・製作しています。私は地域ケア推進委員会の委員長として関与いたしました。

以下は、冊子の冒頭部分（抜粋）です。

日本のはり治療は独特で髪の毛ほどのとても細い針を使います。そのため針刺入時に痛みをかんじることはほぼありません。…

「はりの灸」では、はり刺激が「どのようなメカニズムで生体機能の変調を矯正しているか」「どのようにして健康を保ち、疾患の予防や治療に関与しているのか」「世界の中でのはり治療のポジション」について医師の方々に、「はり刺激と自律神経のメカニズム」について公的機関研究職の方にそれぞれ解説していただきました。

「はりの灸2」では、私たちにもっとも身近な症状である「痛み」を主に取り上げ、痛みに対して「鍼刺激は何ができるのか」について事例を通してご紹介させていただきます。…

…2018年、世界保健機関（WHO）の総会で、国際的に統一した基準で定められた疾病分類「国際疾病分類（ICD）」に、はり・きゅうなどの東洋医学が伝統医療として追加されます。これは医療の世界基準の転換点であり、はり刺激に寄せる期待の世界的な高まりといえます。

2017年2月、アメリカ内科学会（ACP）は、腰痛症に対する治療法選択のためのガイドラインを発表しました。その中で腰痛に対して鍼刺激を第一選択に推奨しています。

国の施策である地域包括ケアシステムでは、「その他の専門職」としてはり師きゅう師という職業が記載されており、はり師もその専門性などを活かし他の医療・介護専門職と連携して地域で活躍することが期待されています。

…この冊子でご紹介する事例は、公益社団法人日本鍼灸師会会員の実際の事例の一部で、個々に報告をうけた「痛みに関する事例」です。ランダム化比較試験（RCT）ではないため、「痛みに対するはり刺激」の根拠に基づいた医療（EBM）とすることはできないかもしれません。しかし、多くの事例があることは、はり刺激の有効性を示すものであり、健康維持・改善から健康寿命の延伸などの選択肢としてご参考とされることを願ってやみません。